

令和5年度

丹波市の教育

実施計画

『地域に誇りを持ち 自分たちの未来を創る 人づくり』
～ 一人ひとりが未来の創り手に ～

丹波市教育委員会

は じ め に

社会の変化は加速度を増し、以前から複雑で予測困難な時代と言われてきました。まさに、近年の新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大など、先行きが不透明で予測困難であることを突きつけられたような状況です。解決しなければならない課題を自ら見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断してやり抜く力が求められています。その能力を身に付け、より豊かな人生を切り拓くために、新しい時代に対応する教育が必要とされています。

第2次丹波市教育振興基本計画の基本目標「地域に誇りを持ち 自分たちの未来を創る 人づくり」をめざして、子どもたち一人ひとりが未来の創り手となり自分に自信を持って、夢に向かってすすんでいけるように、学校・教育の在り方を創出していくことが大切であると考えます。

自学自走できる力を養う主体的・対話的で深い学びを充実させるため、個別最適な学びと協働的な学びを関連付け、目的に向かって自己調整しながら学習する授業づくりを推進します。

あわせて、子どもたちをはぐくむためには、地域や様々な機関との連携の強化が不可欠です。学校・家庭・地域で情報及び課題・目標・ビジョンを共有し、それぞれが当事者として学校運営に参画することを通じて、学校と地域の連携・協働体制を組織的・継続的に確立し、地域とともにある学校づくりや課題解決に向けた取組を推進します。

また、いじめや不登校への対応、特別支援教育の充実、外国籍児童生徒への対応、ICTの活用をはじめ、複雑かつ多様な課題も山積しています。こうした課題の解決に向けて、校長のリーダーシップのもと、教員の専門的知識・技能をさらに向上させることが必要です。

教育委員会及び教育委員会事務局においても、子どもたちの明るい未来のために本年度は「前へ」を合言葉に、努力と工夫を怠ることなく丹波市教育委員会が一丸となり、市民の皆様の期待に応えるべく、教育行政の推進に努めてまいります。

引き続き、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年2月

丹波市教育長 片山 則昭

基本理念

ふるさとを愛しこころ豊かでたくましい人づくり

基本目標

『地域に誇りを持ち 自分たちの未来を創る 人づくり』
～一人ひとりが未来の創り手に～

3つの基本方針と21の具体的施策

令和5年度丹波市の教育（実施計画）重点施策 P 1

I 生きる力をはぐくむ学校教育の推進

- 1 次世代を生きぬく学力の育成 P 3
- 2 豊かなこころの育成 P 4
- 3 健やかな体の育成 P 5
- 4 丹波市のフィールドを活かした教育の推進 P 6
- 5 幼児教育・保育の推進 P 7
- 6 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進 P 8
- 7 人権教育の推進 P 9

II 生涯を通じて学び、活躍できる生涯学習の推進

- 1 地域の将来を担う人づくり P 10
- 2 学びの成果を活かせる社会教育 P 12
- 3 地域資源を活かした学びの推進 P 14
- 4 文化芸術に親しむこころ豊かな市民生活の醸成 P 15
- 5 暮らしにとけこむ図書館づくり P 16
- 6 歴史文化遺産の保存・活用と継承 P 17
- 7 家庭教育の充実 P 18
- 8 豊かな人権文化を創造する人権教育 P 19

III 学びを支える環境の整備

- 1 教職員の資質・能力及び学校の組織力の向上 P 20
- 2 学校給食の充実 P 21
- 3 安全・安心な学習環境の整備・充実 P 22
- 4 学校の適正規模・適正配置 P 23
- 5 教育委員会活動の活性化 P 24
- 6 魅力向上につながる施策の展開 P 25

施策成果指標一覧 P 26

令和5年度丹波市の教育（実施計画）重点施策

1. 「主体的・対話的で深い学び」の充実

- ①指導の個別化と学びの個性化に取り組み、目的に向かって自己調整しながら学習する授業づくり
- ②1人1台端末を活用した確かな学力を保障する個に応じた指導の充実
- ③情報活用能力を教科の学びにいかし、探究の過程で自らの考えを深める取組の推進

2. 豊かな学びを支える環境の整備

- ①丹波市産木材を活用した市内中学校の学習机・椅子の更新（旧 JIS 規格から新 JIS 規格への更新）
- ②第2次丹波市立学校適正規模・適正配置方針に基づいた統合協議への働きかけ（複式学級がある学校の地域）
- ③植野記念美術館の大規模改修、丹波竜化石工房の拡充

3. 教育支援体制の充実

- ①教職員に対する研修機能の充実と、いじめや不登校の理解促進に向けた市民向け情報発信の強化
- ②スクールカウンセラー*、スクールソーシャルワーカー*による個別最適な支援及びいじめ・不登校の未然防止
- ③特別支援保育実践コーディネーターの新規配置による認定こども園への巡回支援の充実
- ④特別支援学校の副次的な学籍導入に伴う特別支援学校・居住地校との交流

4. 学校の働き方改革の推進

- ①スクール・サポート・スタッフの全校配置
- ②学校の組織構成の多様化に伴う地域とともにある持続可能な仕組みづくりの推進
- ③部活動検討委員会による休日部活動の地域移行の推進

5. コミュニティ・スクールの深化・充実

- ①「丹波市 CS フォーラム・連絡会」による各校実践の深化・充実
- ②地域学校協働活動推進員*のコーディネートによる地域の将来を担う人材の育成、地域住民のつながりを深める「学校を核とした地域づくり」の推進
- ③市民が主体的に学んだ学習の成果を「学校を核とした地域づくり」や「地域学校協働活動」にいかす

6. 地域資源の活用とふるさと意識の醸成

- ①丹波市ならではのフィールドとなる「丹波竜化石工房」や「氷上回廊水分れフィールドミュージアム」などでの体験学習をととした地域に誇りを持つ子どもの育成
- ②学校給食における丹波市の特産物や有機農産物、郷土料理をととした環境意識の向上と、生産者への感謝の心の育成
- ③市内県立高等学校との連携による学習教材「STGs ゲーム」の作成および活用（持続可能な開発目標〔SDGs〕への当事者意識の育成）
- ④市内県立高等学校の魅力づくり、特色づくりによる人材育成、県立高等学校の活性化、地域活力の向上

1 次世代を生きぬく学力の育成

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 自学自習できる力を養う主体的・対話的で深い学びの充実

- 児童生徒が自ら課題を解決する能力を育成するため、個別最適な学びと協働的な学びを関連付けながら、指導の個別化と学びの個性化に取り組み、目的に向かって自己調整しながら学習する授業づくりを推進します。また、児童生徒が主体的に取り組む授業の推進を図り、探究的な学びの実現をめざします。

※専科教員（算数、理科、体育、外国語）研修会の実施

※デジタル採点システムの効果的な活用推進（中学校）

- 全国学力・学習状況調査や丹波市学習定着度調査の結果を分析・活用し、読解力、思考力などの基盤的な学力を確実に育成する学びの実現に向けた授業改善を推進します。

※丹波市授業改善推進会議の開催（年2回）

※丹波市学習定着度調査の実施

- ◆読書活動で考えを書く活動を推進し、豊かな言語能力や基礎的な読解力を育成します。

※読書マイスターの認定証交付や、学校図書サポーターの派遣（小・中学校）

2 1人1台端末の活用による新たな学びの創造

- 1人1台端末を効果的に活用し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、確かな学力を保障する個に応じた指導の充実を図ります。

※GIGA スクール構想*推進リーダー育成研修の実施

※東書 Web ライブラリ・タブレットドリル*の効果的な活用推進

※情報モラル*教育や情報セキュリティの充実

- ◆学校生活の中で身に付けた情報活用能力（プログラミング的思考*や ICT*を活用する力を含む）を学習の基盤となる資質・能力と位置づけ、自ら課題を発見し、主体的に課題解決を図るなど、情報活用能力を教科の学びにいかすとともに、探究の過程で自らの考えを深める取組の推進を図ります。

※小学校プログラミング教育*の実施（各学年5時間以上）

※ライフイズテックレッスン教材によるプログラミング教育*の実施

※1人1台端末を活用した読書活動の推進

3 人とつながり、コミュニケーション能力を高める外国語教育の推進

- 国や文化の異なる人々と主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、ALT*及び地域人材を積極的に活用した授業づくりに取り組むとともに、ICT*を活用した外国語指導や国際交流学習の充実を図ります。

※ALT*の配置や地域人材を活用した授業の実施

※ネット de イングリッシュ*や E-letter*の実施

- 自らの英語力を伸ばしていこうとする意欲を高めるとともに、英語を通じて多様な人と主体的にかかわりコミュニケーションを図ろうとする資質・能力の育成に取り組めます。

※中学校3年生を対象にした英語検定受検料の助成（英語検定チャレンジ事業）

※英語検定に向けた ALT*などによる受験前練習の実施（英検チャレンジ応援隊）

2 豊かなこころの育成

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 児童生徒が安心して学べる居場所づくり

◎12年ぶりに改訂された「生徒指導提要」に基づき、発達障害や性的マイノリティー*の児童生徒の対応や学校のきまりなどを見直し、すべての児童生徒が学校生活を通して仲間や教師との信頼関係を築き、人とのつながりや絆をはぐくむことで、安心して学べる学級・学校づくりをすすめます。

※「学級経営研修会」の実施

◆「丹波市いじめ防止基本方針」に基づき、教職員のいじめ認知力の向上を図り、すべての児童生徒がいじめの傍観者にならないための取組を充実させるとともに、教職員、保護者、地域住民が一体となり、いじめ・暴力をなくそうとする意識の醸成を図ります。

※市民全体で子どもたちを温かく見守り育てる「いじめ・暴力ゼロ市民運動」の実施

※教職員のいじめ認知力の向上に向けた研修の実施

□児童生徒の悩みや困りごとを相談できる体制の充実を図るため、電話、メールによる相談窓口とともに、「いじめ報告・相談アプリ STANDBY*」による相談窓口の活用を促します。

※SNS*相談窓口の活用推進に向けた「脱いじめ傍観者教育」の実施

●丹波市立教育支援センター「レインボー」において、コロナ禍における児童生徒や保護者、教職員が抱える不登校やいじめ、子育て、児童生徒への指導など、様々な内容についての相談・支援体制の充実を図るとともに、教職員のキャリアステージに応じた研修機能の充実といじめや不登校の理解促進に向けた情報発信の強化を図ります。また、スクールカウンセラー*やスクールソーシャルワーカー*の効果的な活用による多様な児童生徒への個別最適な支援やいじめ・不登校の未然防止、早期対応に向けた「つながり教育」の充実を図ります。

※レインボー教室*、教育相談室、学校いじめゼロ支援チームによる学校訪問の実施

※校内適応指導教室、ICT*、レインボー教室*、民間フリースクールなどを活用した児童生徒の多様なニーズに応じた不登校支援に向けた研修の実施

2 豊かな人間性、社会性をはぐくむ指導の充実

□児童生徒が他者や自己との「対話」を通して、物事を多面的・多角的に捉え、自分自身の道徳性を豊かにできる授業づくりに努めるとともに、兵庫版道徳教育副読本*の活用や地域やふるさとに視点を当てた教材の活用など指導方法の工夫改善に努めます。

◆児童生徒の学校や家庭でのICT*活用の増加やSNS*トラブルの増加を踏まえ、学校・家庭・地域が連携した情報モラル*教育研修を推進するとともに、効果的なICT*活用教育の充実に向けた取組を推進します。

※親子が共に学ぶことができる情報モラル*教育研修会の実施

※各学校及び各家庭における「丹波市版子どものネット利用に関する家庭ルールブック」の活用率向上に向けて、小学4年生対象授業の推進と活用事例収集

3 健やかな体の育成

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 体力向上の取組の推進

- 運動への興味関心を高め、体力向上や運動習慣の定着を図ることができるよう、小学校へ専門性に優れた地域人材や中学校教員を体力アップサポーター*として派遣します。また、普段の外遊びや運動経験を重視し、教育活動全体を通じて運動に慣れ親しむ機会の充実を図ります。

※体力アップサポーター*派遣事業の実施

- 基礎トレーニングハンドブック、元気アップチャレンジシート*などを活用し、体づくり運動の充実を図ります。また、主体的に運動する意欲や態度の育成に向けて、武庫川女子大学と連携した体づくり運動や体育的活動の研究に取り組みます。

※武庫川女子大学と連携した丹波市体力アップ支援事業の実施

(認定こども園、小・中学校対象)

2 食育・健康教育の推進

- コロナ禍における体験活動や地域人材を活用した活動、感染予防を意識した食生活について工夫改善を行い、各校に応じた食育全体計画の見直しを図ります。家庭・地域と連携しながら、学校における食育の充実に向けた体制づくりを推進し、栄養教諭を中心に学校教育全体で組織的・継続的に取り組みます。

- 自らの健康を適切に管理し改善できるよう、家庭や健康課などと連携し、コロナ禍における生活やICT*活用による健康課題などに対応した取組を推進します。

※食育推進状況調査の実施

3 防災・安全教育の推進

- すべての学校において、地域、専門機関と連携しながら、想定や時間などを工夫し、実践的な避難訓練を推進します。また、緊急時に有効に機能するよう危機管理マニュアルの見直しを図ります。

※地域と連携した防災訓練の実施

- ◆丹波市の豪雨災害の経験や教訓をつなぎ、児童生徒が自然災害から自らの命を守る適切な判断力や主体的に行動する態度を育成できるよう、「丹波市防災教育モデルプラン*」及び丹波市防災教育教材「心つなぐ」*や動画教材などを活用した防災教育を実施します。

※丹波市防災教育教材「心つなぐ」*を活用した防災授業の実施

- PTAや地域と連携して危険箇所の点検を行うとともに、児童生徒が日常生活に潜む危険を予測し行動できるよう、丹波警察署やくらしの安全課と連携した安全教育を推進します。

4 丹波市のフィールドを活かした教育の推進

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 地域の教育資源を活用したふるさと意識の醸成

- 地域や社会の課題に興味・関心をもち、地域の教育資源（人・もの・こと）を活用したり、ICT*を活用したりしながら、自分たちの住む地域課題などの解決に向かう学習を行う中で、ふるさと丹波を愛し、地域に誇りを持てる教育の充実を図ります。

※たんばふるさと学*、ふるさと教育展示会の実施

※「丹波市のフィールドを活かした教育ガイド*」を活用した教育活動の推進

※探究的な学びの創造プロジェクト事業、地域探究型学習教育研究室の実施

- 貴重な自然環境や歴史・文化などに関するフィールドとなる「丹波竜化石工房」、「氷上回廊水分れフィールドミュージアム」、「植野記念美術館」、「青垣いきものふれあいの里」の四館を活用した体験学習を推進する中で、地域の魅力に触れ、地域に愛着と誇りを持つ子どもをはぐくみます。

※につぼん恐竜協議会構成市町*との交流学习「竜学*」の実施（福井県勝山市）

※四館を活用した体験学習（オンライン学習含む）推進環境の整備

2 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

- 児童生徒一人ひとりが社会の一員としての自覚と誇りを持ち、将来を見据えて自らが主体的に判断し、目標に向かって努力する態度や能力を育成するための兵庫県版キャリア・パスポート*や丹波市版キャリアノート*を活用したキャリア教育*を推進します。

※地域と連携したアントレプレナーシップ教育*の充実（全中学校）

- 児童生徒の情報交換や効果的な支援の在り方、すべての児童生徒の可能性を引き出す個別最適な学び、協働的な学びの充実についての研修をすすめるため、小学校と中学校、中学校と高等学校の連携を深めます。また、中学校・高等学校における、地域課題に目を向けた地域探究型の学習内容を交流することにより、相互のキャリア形成並びにふるさと意識の醸成を図ります。

※ふるさとへの誇りと愛着をはぐくむ教育に係る丹波市中高連携事業の実施（全中学校、市内3高等学校）

※丹波市中高連携協議会の開催

- 学校運営協議会*において、育てたい子ども像や身につけさせたい力を共有し、学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実を図り、地域でのカリキュラム・マネジメント*の実現を図ります。

※各校における学校運営協議会*活動の充実・推進

※丹波市CSフォーラム・連絡会の開催

5 幼児教育・保育の推進

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 幼児教育・保育の質の向上

□幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、子どもを主体とし、一人ひとりの育ちを捉えた保育を推進します。

※公開保育研修会の実施

□キャリアステージや課題に応じた研修の充実により、保育者としての専門性や指導力の向上を図るとともに、リーダー的職員の育成を支援します。

※湊川短期大学と連携した保育士等キャリアアップ研修会の実施

※幼児教育・保育研修会の実施

◆若手保育者が保育の情熱や意欲を高めて保育実践できるよう交流機会を確保し、人材育成を支援します。

※若手保育教諭研修会の実施

◎インクルーシブ教育*の視点を踏まえた特別支援保育の充実をめざし、特別支援保育実践コーディネーターを配置し、認定こども園への巡回支援体制を整えます。

※特別支援保育実践コーディネーター巡回支援

□保育カンファレンスにより子ども理解の視点を磨き、遊びの中の学びを捉えた保育の工夫・改善を図ることができるよう、園内研修を推進します。

※園内研修への指導主事派遣



公開保育研修会

2 幼児教育と小学校教育の円滑な接続

□子どもの姿を捉え、育ちや学びの連続性を重視した指導計画やカリキュラム・マネジメント*の理解推進を図ります。

※カリキュラム・マネジメント*研修会の実施

□幼児期と児童期の教育内容や指導方法の違いについて、認定こども園と小学校の教職員の相互理解を深め、幼児期と児童期の学びの円滑な接続を推進します。

※相互参観や合同研修会の推進

※アプローチプログラム*やスタートカリキュラム*の作成・活用



5歳児と5年生の5・5交流



園小職員合同研修会

6 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 教育的支援が必要な子どもの学びの充実

- 「縦横連携」を推進し、就学前から卒業後も切れ目なく支援を受けることができるよう、丹波市サポートファイル*、中学校高等学校連携シート*などを活用しながら、家庭・福祉・医療などの関係機関との連携を図ります。
 - ※丹波市特別支援連絡協議会の開催
 - ※特別支援にかかる教育相談の実施
 - ※通級*指導にかかる連絡会の開催
 - ※特別支援学級サポート事業の実施
- ◎特別支援学校の副次的な学籍（副籍*）導入に伴い、地域とつながり、子どもたちの相互理解を深める中で、互いに支え合う共生社会の実現をめざします。
 - ※副籍*をいかした特別支援学校と居住地校との交流
- 多様な児童生徒のニーズに対応した個別最適な学びを実現するため、全教職員を対象に、子どもの見取り方や適切な教育課程の編成について研修を実施します。
 - ※特別支援教育セミナーの実施
 - ※特別支援教育支援員、介助員・看護介助員研修会の実施

2 丹波市立教育支援センター「レインボー」の支援体制の充実

- いじめ、不登校、ヤングケアラーなど、支援が必要な児童生徒に寄り添い、個に応じた適切な指導や支援を行うため、丹波市立教育支援センター「レインボー」における相談活動や関係機関との連携を充実させ、支援体制を整えます。
 - ※丹波市立教育支援センター「レインボー」による学校訪問の実施
 - ※丹波市立教育支援センター「レインボー」による職員研修の実施
 - ※教育相談及び臨床心理士による発達検査の実施
- 不登校などの支援が必要な児童生徒に対して、教育的ニーズに応じた支援が行えるよう学びを止めない学習環境を充実させます。
 - ※タブレットドリル*などのオンライン学習サービスの実施
 - ※オンラインでの授業参加

3 多文化共生社会の実現をめざす教育の推進

- 外国人幼児児童生徒の母国の文化や言語を尊重し、自己実現に向けた支援を行うとともに、すべての子どもたちが国籍や文化などの違いを認め合い、多様な文化的背景を持つ人々と共に生きようとする意欲や態度、共生の心の育成に向けて取り組みます。
 - ※多文化交流 Day*の実施
- 日本語指導が必要な児童生徒の心の安定を図るとともに、基本的な日本語力を身につけ、充実した学校生活を送ることができるよう支援します。
 - ※外国人児童生徒語学指導者*の派遣

7 人権教育の推進

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 差別や偏見、いじめを許さない意識や実践力の育成

- ワクチン接種を含む新型コロナウイルス感染症に関連した誤解や偏見に基づく不当な差別、いじめなどの人権侵害について、児童生徒が正しく理解し、適切な行動がとれるよう発達段階に応じた学習や啓発を行い、一人ひとりの人権を大切にしたい取組をすすめます。

※学級経営研修会の実施

※教育支援センター「レインボー」などの各種相談窓口との連携

- 同和教育を人権教育の重要な柱と捉え、人権の意義や重要性について理解を深めるとともに、「共に生きる共生社会」の実現をめざし、人権に関する知的理解や人権感覚を高めます。自分の人権を守り、他の人の人権を守ろうとする実践行動の育成に向けて、学校教育活動全体で取組をすすめます。

※地域別小学校人権交流会（小・中交流含む）の実施：6地域

※地域人権教育事業による中学校人権学習交流集会の実施

- ◆教職員自身の人権感覚や人権意識が、児童生徒にとって重要な学習環境であるとの認識を深め、児童生徒自身が、自他の価値を尊重し、同和教育、人権尊重の精神の涵養をめざす人権学習となるよう教育実践力及び専門性の向上、若手教員への実践の継承に取り組めます。

※丹波市人権教育研修会の実施（初任～3年次研修該当者及び若手教員）

- 人権資料や実践記録などの共有、活用整備に努め、指導内容の工夫改善を図ります。

2 新たな課題に対応する人権教育の推進

- 共生社会の実現に向けて、ドメスティック・バイオレンス（DV）、性的マイノリティー*などの人権にかかわる課題に対する理解につなげ、男女の平等や相互理解・協力・共同を基盤に児童生徒一人ひとりがその個性や能力をいかし豊かに共生していく教育に向けて、取組をすすめます。

※デートDV防止の授業実施（全中学校）

- 情報モラル*教育を通して、情報社会の影の部分に関する事例から、危険回避の具体的な方法や情報セキュリティの知識、ルールづくりの必要性などの理解を図り、インターネットによる人権侵害などに対応する人権教育を推進します。

※情報モラル*研修会の実施（全小中学校）

1 地域の将来を担う人づくり

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 地域学校協働活動の推進

- コミュニティ・スクール*連絡会や、学校運営協議会*などで、地域学校協働活動推進員*の活動を周知するとともに、市内事例の紹介により認識を広げることで、地域学校協働活動推進員*の配置を推進します。
- 地域学校協働活動推進員*のコーディネートにより、地域と学校（学校運営協議会*）がパートナーとして連携・協働し、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した社会基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進します。
- 地域学校協働活動推進員*間の情報共有や意見交換を行う連絡会や、資質向上のための研修会を実施し、地域学校協働活動推進員*を中心としたコミュニティ・スクール*の充実を図ります。

※地域学校協働活動推進員*協議会の開催

2 コミュニティ・スクール*の深化・充実

- 学校・家庭・地域で情報及び課題・目標・ビジョンを共有するために、熟議や地域住民の方が当事者として学校運営に参画することを通じて、学校と地域の連携・協働体制を組織的・継続的に確立し、地域とともにある学校づくりや課題解決に向けた持続可能な取組を推進します。また、各小中学校の取組について交流することで、コミュニティ・スクール*の深化・充実を図ります。
- 全小中学校において学校運営協議会*と地域学校協働活動の一体的な推進を図ります。特に、地域の実情に合わせた取組となるように、中学校でのトライやる・ウィーク、アントレプレナーシップ教育*や小学校でのたんばふるさと学*などの施策を通じて地域住民の方や企業との連携を深めます。

※丹波市 CS フォーラム・連絡会の開催

※地域と連携したアントレプレナーシップ教育*の充実（全中学校）

※たんばふるさと学*の充実（全小学校）

3 子どもたちの成長を支える体制づくり

□市内の豊かな自然や文化、様々な社会資源をいかした体験活動を通じて、自立した社会人の基礎となる素養や力量を培い、「生きる力」の育成を目的とした体験講座を実施するとともに、「地域で子どもを育てる」という視点から、地域への愛着をはぐくみ、子どもの成長を支える活動に参加する大人を増やすため、親子で共に楽しめる内容を中心としたイベントを開催いたします。

各講座は、丹波市子ども会育成協議会をはじめ、各関係機関と連携・協働し、地元の高校生や地域の大人を講師とした内容で実施します。

※青少年育成事業の実施

4 子どものスポーツ機会の拡大による健全な心身の育成

□令和4年に全国女子野球連盟から「女子野球タウン」の認定を受けたことにより、第27回全国高等学校女子硬式野球選手権大会の開催と共に、野球教室を開催するなど“女子野球”を通じたスポーツ活動の推進、地域の活性化を図ります。

※マドンナジャパンによる野球教室、女子高校生による交流試合の開催（予定）

□各実行委員会、スポーツ協会、スポーツ推進委員など関係者と協力しスポーツ大会や研修会を開催することにより、スポーツの機会を創出します。

※ラジオ体操・みんなの体操講習会やちーたん駅伝大会の開催

□丹波市スポーツ協会や地域スポーツの関係者などと連携し、子どものスポーツ環境の向上につながることを目的とした指導者への研修会を開催します。

※スポーツ指導者資格取得補助事業や普通救命講習会などの実施

2 学びの成果を活かせる社会教育

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 知識循環型生涯学習の推進

- 市民が主体的に学び、その学習の成果を「学校を核とした地域づくり」や「地域学校協働活動」の実践にいかし、実践の中から見えてくる新たな課題解決に取り組む知識循環型の生涯学習を推進します。
- 学校・家庭・地域・行政それぞれが子どもの成長にかかわる当事者となり、協働する体制を構築するため、「地域から考える学びの未来会議」を開催し、地域で行われている学びの掘り起こしやネットワーク化について協議し、大人も子どもも学び合える地域づくりをめざします。

2 年代に応じた様々な学習機会の提供

- ◆高齢者を取り巻く現代的課題について「気づき」と「学び」を提供するため、教養講座を展開します。

令和5年度は、気軽に参加できる教養講座の開催回数を増やし、継続した学習機会を作るとともに、高齢者の外出機会の確保や地域活動の広がりを促します。

また、高齢者が自宅でも気軽に学ぶことができるように、FM ラジオを活用した教養講座を実施します。

 - ※TAMBA シニアカレッジの開催
 - ※TAMBA シニアカレッジラジオ教養講座の開催
- 高齢者層のオンラインによる学習や WEB 会議におけるコミュニケーションなど、新しい技術を活用した学びが展開できるように、ICT*を活用するための技術や知識を習得するための学習機会を提供します。
 - ※TAMBA シニアカレッジの開催
- 丹波青い鳥学級、丹波くすの木学級は、身体に障がいがある方やボランティアスタッフを対象とした、社会参加や活躍を促進する社会教育事業を開催しています。一般教養や実用的な知識、技能を習得する講座、レクリエーションのほか小学生との交流を通じ、相互理解や共に生きる喜びを創造する事業を展開します。
- 市民活動支援センターを含む市民プラザは、令和4年度から市民活動や地域づくり活動を総合的に支援する中間支援組織として、指定管理者による運営を行っています。また、地域訪問を行うことで地域ニーズの把握と、課題解決に向けた人材育成事業を展開します。

II

3 地域主体の学習の場づくり

□自治公民館の振興と充実を図るために、人権意識を高める学習活動事業や地域コミュニティ形成のための事業に主体的に取り組む自治公民館に対し、自治公民館活動補助金を交付します。

※自治公民館活動補助金交付事業の実施

□新型コロナウイルス感染拡大防止により、各自治公民館の活動も大きく制限を受ける中、アフターコロナに対応した、これからの自治公民館活動のすすめ方や地域コミュニティの大切さを学ぶための研修会を開催します。

※自治公民館活動研修会の実施

□高齢期の生きがいづくりや仲間づくりを目的とした高齢者団体が、自主的かつ継続した活動ができるように、丹波市広報や丹波市ホームページなどで会員募集するなど相談・支援機能を充実させます。

※地域高齢者学級への伴走支援の実施

4 市民による公益活動への支援

◆市民活動支援センターでは、各種活動団体や地域づくりの情報、イベント情報、活動する際に必要な補助金情報の発信、まちづくりに関する講座、研修会、交流会の開催など市民が主体となった地域づくり活動や市民活動の支援を充実させます。

また、新型コロナウイルスの影響により、コミュニケーションの機会が減少している地域づくり団体や市民活動団体へ新しい生活様式に合わせたコミュニケーション手段として ICT*を活用した活動支援を充実させます。

※市民プラザ大交流会の実施

※ホームページ・SNS*、チラシ配架など団体情報の発信

※WEB 会議導入の支援

※市民活動支援センター情報誌「tam tam」の発行

※団体設立・組織運営・活動などの相談

3 地域資源を活かした学びの推進

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 恐竜化石の活用

- 篠山層群（前期白亜紀）の自然環境や、篠山層群から発掘された古生物の化石などから、地域の特色や自然及び恐竜などの古生物を知り、学ぶため、地元の協力を得ながら発見現場周辺と丹波竜化石工房を活用して、命を大切にする心をはぐくむとともに、郷土への理解を深め、誇りに思う心を醸成する学習などを実施します。
- ◆丹波竜化石工房を将来的に継続させるため、丹波竜をはじめ篠山層群産化石を中心にした展示や教育普及機能の充実を図り、施設機能を強化するため、丹波竜化石工房拡充基本計画に基づき拡充工事に向けた関係部署との調整などを実施します。
- 篠山層群に関する情報発信施設として、多くの市内外からの来館者に地層や化石など地域の豊かな自然環境や特性を伝えるため、魅力的な展示や企画展、セミナーなどを実施します。

2 丹波布の活用

- 国の選択無形文化財である丹波布の伝統文化の保存と後継者の育成のため、糸紡ぎ、草木染め、機織りなど丹波布の一連の工程を基礎から学ぶ2年間の長期伝承教室を実施し、修了者は「丹波布技術伝承者」として認定します。
- 丹波布の魅力を市内外に発信するため、体験型の短期伝承教室や糸紡ぎ教室、染教室、織り教室を実施します。また、ふるさとへの愛着心を育むために地元である青垣小学校を中心に要請のあった小学校への出前講座を実施します。

3 博学連携*の推進

- ◎丹波市を持続可能なまちとして次世代へつなぐため、市内の高等学校と連携し、持続可能な開発目標（SDGs）への参加意識や当事者意識を育てる丹波市独自の学習教材「STG s ゲーム」を作成し、学校の授業や社会教育施設などで楽しみながら学習を深めます。
- 地域に誇りを持ち自分たちの未来を創る人づくりの一環として、青垣いきものふれあいの里と県立氷上西高等学校が連携し、施設の情報発信など博物館運営にかかわることで、地域づくり・地域経営の将来の担い手として、また、ふるさとに愛着や誇りを持てる人材を育成します。
- ミュージアム（丹波竜化石工房・植野記念美術館・氷上回廊水分れフィールドミュージアム・青垣いきものふれあいの里）連携事業により、共通リーフレットの発行を通じ、社会教育施設の利活用を推進します。

4 文化芸術に親しむところ豊かな市民生活の醸成

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 美術館事業の充実

◎植野記念美術館は、建設以来 28 年が経過し改修の時期になっているため大規模改修を実施します。

※屋根防水工事、エレベータ改修、高圧受電設備更新、収蔵庫改修などの実施

□質が高く、館の個性をいかした展覧会とするため、その内容を充実し、多くの人々が美術館に親しみをもち、集える企画事業を開催します。

※ルドゥーテ展、丹波ゆかりのアート・コンクール展の開催

□市内博物館施設と相互に連携を図り、各施設が実施する展示・イベント情報を共有し、効果的に PR ができるように取り組みます。

□生涯学習の施策・施設との連携を図りつつ、市民の学習意欲の醸成に努めます。

※TAMBA シニアカレッジへの支援と協力・美術館友の会活動への支援（美術講座などを含む）

□学校教育や PTA、子ども会活動との連携を強め、美術館での学びの輪を広げます。

※鑑賞教室の内容の充実、PTA、子ども会活動での利用促進と引率者への費用負担軽減

◆地域に開かれた美術館として、地域で活動中の作家の紹介展の実施や地域ゆかりの物故作家の作品の収集、紹介に努めます。

※館蔵品のデジタルアーカイブ配信、図録の整備

2 文化ホール事業の充実

□市立文化ホールでは、市民参画型のホール運営を市民によるボランティアオペレータースタッフとともにを行い、“人づくり”“地域づくり”を推進します。市民が気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図るため、ニーズや目的に合った特色ある文化ホールイベントを開催します。

※クリスマスコンサート、高校生企画(卒業ライブ)、0 歳からのコンサートの開催

※文化芸術体験講座「はじめの一步講座（伝統芸能体験・和楽器体験など）」、オペレーター養成講座の開催

3 市展開催事業の拡充

◆文化芸術活動への参加促進を図るため、丹波アートコンペティション開催の情報発信を強化するとともに、市民を対象とした「市民賞」を設け、市民の参加（出品）促進を図ります。

※「市民賞」の設置、通年事業として文化芸術体験講座「はじめの一步講座（絵画・工芸創作体験など）」開催

◆丹波アートコンペティションにあわせ、植野記念美術館で「新人賞受賞者展」を同時開催するとともに、丹波アートコンペティション審査員が講師になる美術講座「アートのスパイス」を開催することにより、文化芸術を担う若手芸術家の発掘・育成に取り組みます。



「はじめの一步講座」（美術鑑賞講座）

5 暮らしにとけこむ図書館づくり

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 多様な図書館サービスの提供

- 隣接する市町と連携した広域貸出サービス*をより充実させるために、マイナンバーカードを図書館利用者カードとして活用することを促進し図書館サービスの充実に努めます。
- 市民プラザや社会教育・文化財課、美術館などと連携し、市民プラザを会場とした大きなおはなし会、指定文化財を会場とした昔話のおはなし会、美術館の企画展に合わせた図書の展示や図書館を会場とした各種講座を開催し図書館資料の利用を促進します。
- 図書館に足を運んでいただくきっかけとなる福袋企画やリサイクル市を継続するとともに、新たな催し物やイベントの実施を検討します。
- ◆家庭に居ながら、電子図書の貸出・閲覧・返却ができる「たんばし電子図書館」の学校などを含めたより一層の利用促進に取り組みます。



電子図書館トップページ

2 市民協働による図書館運営の推進

- 新たな図書館サポーターを養成するための講座を引き続き開催します。
- 図書館サポーター登録者の意見を聴取し、コロナ禍においても協働しやすい活動内容へ見直しを行います。また、サポーターがいつでも気軽に参加できるよう活動日についても工夫を行います。
- 親しみやすい図書館づくりのため、読み聞かせボランティアグループや一般市民、関係部署・施設と連携し、市民と一体となった図書館運営を行います。

3 子どもの読書活動の推進

- 本を読むきっかけづくりのツールとなる「読書通帳」について、積極的な周知を行うとともに、継続的な配布を行い、読書の習慣づけをさらに推進します。
- 子ども司書養成講座を引き続き開催し、子ども読書活動のリーダーを育成します。
- ◆子ども司書認定者のおはなし会での読み聞かせを継続するとともに、子ども司書の活動を紹介するコーナーを設け、「子ども司書」制度の取組や家読*（うちどく）について、広く市民に知ってもらうための事業を実施します。
- 子どもたちの身近に本がある環境や機能の充実を図るため、学校と図書館がさらに連携・協力し、朝読書用図書（電子図書を含む）や調べ学習用資料の貸出と情報提供を行います。
- 図書館職員が、小中学校や認定こども園へ出向き、読み聞かせやブックトーク*などを実施し、読書活動の支援を積極的に行います。

6 歴史文化遺産の保存・活用と継承

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 市内の歴史・文化遺産の調査と活用

- 指定・未指定を問わず文化財の保存と活用を目的とした丹波市文化財保存活用地域計画の策定に向けて、地域に残る歴史資料の調査をすすめます。
- 実施した調査や資料からテーマを選び、歴史講座を開催し、市民の関心を高めます。
※神戸大学大学院人文学研究科との連携事業である歴史講座の開催（6回）
- 開発場所の遺跡の有無を確実に判断する試掘・確認調査を行い、その調査報告書を刊行します。

2 指定文化財の保護

- 柏原の大ケヤキ（木の根橋）を保護するため、根を腐朽させるナラタケモドキ菌の除却や幹付近に発生するコフキササルノコシカケの治療など、樹勢を回復させる治療をすすめます。
- 黒井城跡整備基本計画に基づき、観光客も増えたことで城跡の石積みが崩壊しないよう保存管理をすすめるため、石垣カルテの作成に向けて準備を行います。
- 指定文化財の修復や民俗芸能などの活動に対し、補助事業による支援を行います。

3 歴史民俗資料館の充実

- 丹波市生涯学習施設整備方針などに基づき、将来の在り方を検討します。
- 歴史文化に触れる場として、積極的に歴史民俗資料館などへの校外学習を受け入れるとともに、様々な場所で文化財などを紹介する機会をもち、ふるさと意識を醸成します。
- 歴史民俗資料館などに所蔵する民具の目録を整理します。
- ◎春日歴史民俗資料館では、令和4年度に寄贈を受けた春日町出身である昭和時代の俳人・片山桃史に関する資料から俳人が見た戦争に関する企画展を行います。
- ◎柏原歴史民俗資料館では、鉄道OB会氷上支部の方が所蔵する貴重な資料を中心に鉄道の歴史を紹介する企画展を行います。

7 家庭教育の充実

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 家庭教育の学習機会と情報の提供

□青少年の健全な育成のため、家庭教育の大切さを学ぶ研修会を開催するなど、家庭における教育について理解を深め、学校、家庭、地域が互いに協力する取組を推進します。

※丹波市 PTA 連合会研修会の開催

□子育て支援担当部署と連携し、家庭教育の重要性を発信するため、乳幼児健康診査などにおいて、基本的な生活・学習習慣の確立や家庭教育に関する情報をまとめたリーフレットなどを配布します。

2 地域ぐるみの家庭教育の意識の向上

●子どもたちが、基本的な生活・学習習慣や生活能力、豊かなところをはぐくむことができるよう、コミュニティ・スクール*の熟議の場において、学校、家庭、地域が担う役割について考え、それぞれが子育ての当事者となる意識の醸成を図ります。

また、学校運営協議会*、社会教育委員の会議、地域学校協働活動推進員*協議会においてコミュニティ・スクール*の熟議に向けて協議します。

□丹波市 PTA 連合会で開催する家庭教育に関する研修会については、参加対象者を地域の保護者、学校運営協議会*、地域学校協働活動推進員*、社会教育委員などへ広げ、地域全体で子どもをはぐくむ意識の向上や、子育て環境の充実をめざします。

8 豊かな人権文化を創造する人権教育

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 市民主体の住民人権学習の推進

- 各自治公民館で実施されている住民人権学習会がより充実したものとなり、市民の人権感覚・人権意識が高まるよう、様々な人権課題に関する情報提供を行うとともに、幅広い市民が参加される学習会となるよう実施方法や学習方法の助言をするなど市民の主体的な学習活動を引き続き支援します。
- 住民人権学習推進員研修会を開催し、住民人権学習会の目的や推進員の役割、学習会の手法や教材の活用方法、女性や若年層の増加に向けた方法などについて説明を行います。特に、コロナ禍においても、新しい生活様式に対応でき、前向きに地域で取組ができるように、相談対応や様々な学習ツール、取組事例を紹介しします。また、各種人権講座の案内を行うとともに、各課が実施する出前講座の紹介や、人権学習のすすめ方ガイドブックを作成し配布するなど、推進員を支援します。
- 効果的で充実した住民人権学習会とするため、自治会からの依頼に応じて、住民人権学習支援者が住民人権学習会に参画し、知識と経験をいかして、住民人権学習会の支援を行います。

2 地域・学校における人権学習の推進

- 地域の人権課題や人権意識の高揚を図るため、学校における人権教育の取組と連携しつつ、地域人権教育事業を実施します。
- 市内の中学生が一堂に会して他校生と交流し、人権についての学習を深め、人権意識の高揚を図るため、中学校人権学習交流集会を開催します。



中学校人権学習交流集会

3 職場などにおける人権学習の推進

- 企業・事業所に人権学習講師派遣制度を周知し、企業・事業所の自主的な人権学習に講師を紹介・派遣することで、若者を含めた様々な世代の学習機会の拡大を図ります。また、人権に関する情報提供を行い、人権が尊重され、働きやすい職場づくりや人権尊重の企業活動を支援します。

1 教職員の資質・能力及び学校の組織力の向上

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 一人ひとりの資質・能力の向上

◆教員免許更新制廃止後の「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて、教職員のキャリアステージに応じた、一人ひとりの資質・能力の向上を図ります。

※たんば琢塾、ニューリーダー、スクールリーダーなどのオンライン研修の実施

●「主体的・対話的で深い学び」をテーマにした研修を実施し、子どもたちに確かな学力を保障する授業力の向上を図るとともに、丹波市授業改善推進会議と連携し、校内研修の充実を図ります。

※GIGA スクール構想*推進リーダー育成研修の実施

2 学校の組織力の向上

□小学校における教科担任制による、義務教育9年間を見通した教育課程・指導体制の組織的取組を推進します。

□管理職のリーダーシップのもと、教職員一人ひとりの力を組織的かつ機動的にいかしていくため、管理職（校長、教頭）研修や、コミュニティ・スクール*の機能強化により、協働体制の推進を図ります。

□教職員のメンタルヘルス・ケアの重要性を十分に理解するとともに、職場内のコミュニケーションを増進することなどにより、非違行為、ハラスメントなどの防止や心の通い合う学校運営に取り組みます。

※長時間労働者を対象とした産業医による面談、ハラスメント研修の実施

3 働き方改革の推進

◆教職員が心身ともに健康を保ち、元気で児童生徒一人ひとりと向き合える環境と、やりがいを持てる職場環境を確保するため、スクール・サポート・スタッフの全校配置を行うなど、教職員の負担軽減に取り組みます。

●コミュニティ・スクール*による地域ボランティアスタッフの学校運営への参画を促すとともに、学校の組織構成の多様化による地域とともにある持続可能な仕組みづくりを推進します。

※管理職研修会の実施（働き方改革研修）

□学校への勤怠管理システム導入に向けて協議を行い、教職員のタイムマネジメント意識の醸成をめざします。また、管理職のリーダーシップのもと業務を「見える化」して計画的に実施し、早めの退勤に向けて取り組みます。

●中学校教員の超過勤務時間の大部分を占める部活動について、部活動指導員の増員により教員の負担軽減を行うとともに、部活動検討委員会では他部署と連携・協議し、休日部活動の地域移行を推進します。

2 学校給食の充実

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 効率的な施設及び厨房機器の更新

□令和5年度から令和9年度までの5年間の学校給食運営に関する基本的な事項を定めた第3次丹波市学校給食運営基本計画に基づき、学校給食センターの厨房機器などを計画的に更新します。

※柏原・氷上学校給食センターの厨房機器更新（3期目）

※柏原・氷上学校給食センターの熱源である蓄熱式蒸気発生器改修

※春日学校給食センターの厨房機器更新（1期目）

※春日学校給食センター配食校の食器を強化磁器製からPEN樹脂製に更新

2 学校給食費の徴収

□学校給食事業の円滑な運営及び保護者負担の公平性を図るため、学校給食費の徴収に努めます。

□丹波市学校給食費滞納整理等事務処理要綱に基づき、督促や分納相談に応じない滞納者について、支払督促などの法的措置を講じます。

3 学校給食における地産地消の推進

□地場農産物の生産時期、収穫量に考慮した献立作成に努めます。

□小豆やスイートコーンなどの地元特産物を取り入れた献立や、郷土食、行事食を盛り込んだ給食を提供します。

□学校給食用農産物生産者組織連絡協議会などの関係機関と連携し、地場農産物を安定的、効率的に調達できる仕組づくりをすすめます。

◎地産地消の一環として、丹波市が推進する有機農業による農産物の使用を推進します。

4 学校給食による環境教育

◎食べ残しの削減を目標とした調理方法の改善や、献立の工夫に努めます。

◎食品ロス問題について児童生徒が主体となって活動するよう働きかけるとともに、学校単位での食べ残しの堆肥化や学校農園での堆肥の利用などの取組をすすめます。

◎有機農産物や郷土料理を通して、環境を守ることや生産者への感謝の心をはぐくみます。

3 安全・安心な学習環境の整備・充実

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 安全で安心な学校施設整備の推進

●学校施設長寿命化計画及び第6次学校施設整備計画に基づき、これまでの大規模改造中心の整備ではなく、トータルコストの低減と事業費の平準化を図るなかで、定期的な施設の点検や診断結果を有効に活用し、教育環境の質的な向上を図ります。

※北小学校北校舎長寿命化改修工事の実施

※久下小学校南校舎、小川小学校南校舎長寿命化改修工事実施設計

※小・中学校校舎・体育館などのトイレ洋式化及び手洗い場の自動水栓工事実施設計

※崇広小学校南側斜面对策工事の実施

※小学校の危険遊具の撤去、更新

◎市内中学校の学習机・椅子を、旧 JIS 規格から新 JIS 規格に更新します。更新にあたっては、天板などに丹波市産木材を活用し、生徒が木のぬくもりや香りを身近に感じられる学習環境を整備します。

2 通学路などの安全対策

□PTA や地域と連携し、児童生徒への安全教育・安全指導を行います。

●通学路の安全対策として、小学校の通学路については通学路安全プログラムに掲載した危険箇所の対応策について、丹波警察署、くらしの安全課、道路整備課との合同会議において進捗状況の確認を行います。

また、中学校の通学路についても、通学路安全プログラム同様の対応を行います。

□丹波警察署、PTA 及び地域と連携し「登下校時防犯プラン」に基づく通学路の防犯対策を指導します。

3 ICT*機器の適切な維持管理と計画的な更新

◎竹田小学校及び前山小学校の統合に向け、各種サーバ及びパソコンなどの設定変更を行います。

◎ホームページ管理システムのサーバが更新時期となっているため、仮想サーバへの移行を行います。

◎サイバー攻撃対策システムの機器が更新時期となっているため、機器の更新を行います。

□ICT*機器を安心して活用できるよう、ICT*支援員による機器及びソフトウェアの操作支援やトラブル解決を行います。

4 情報セキュリティ対策の強化

□新規採用教職員及び全教職員を対象とした情報セキュリティ研修を実施し、情報セキュリティに対する職員の意識向上を図ります。

□各種サーバ及びパソコンのセキュリティ対策が確実に実施できるよう、WindowsUpdate などの定期的なアップデートを実施します。

4 学校の適正規模・適正配置

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 小中学校の統合

□市島地域市立小学校統合準備委員会において決定された竹田小学校、前山小学校の令和6年4月開校に向け、引越業務や閉校式など具体的な取組を行います。

また、吉見小学校と三輪小学校との統合については、地域要望に応えるためできるだけ早期の開校をめざし具体的な協議をすすめます。

部会	項 目	R5													R6
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
竹田・前山地域部会	校歌作曲業務	作曲者の検討		作曲期間											開校
	通学バスの検討	便数・運行時間・乗降場所などの詳細を検討													
	通学路の安全対策の検討	通学路の危険箇所の確認													
	引越業務	引越業者の決定		引越物品の整理										引越	
	閉校式の検討	内容や来賓の調整													
	開校式の検討	内容や来賓の調整													
吉見・鴨庄・三輪地域部会	吉見小・鴨庄小の統合	開校													
	校名・校歌・校章の検討														
	通学支援にかかる調整														
	閉校式・開校式の検討														

◎第2次丹波市立学校適正規模・適正配置方針に基づき、複式学級のある学校の地域に統合協議について働きかけを行います。

5 教育委員会活動の活性化

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 広報誌などによるタイムリーな情報発信

- 広報紙「教育たんば」について、紙面での配布を縮小したことから、電子媒体での配布を効果的にするため「見せる」ことに重点に置き、学校の様子や教育委員会の取組を分かりやすく伝える広報を実施します。
- 丹波市教育委員会 LINE を活用し、関連施設でのイベント情報や参加者募集情報などタイムリーで効果的な情報発信に努めます。
- 学校の取組を紹介した YouTube を教育委員会 LINE と連動して発信するなど、広報活動の一層の充実を図り、地域や家庭と連携を深めた教育に取り組みます。

2 自己点検・評価の有効活用

- 教育委員や外部評価による点検・評価をいかすため、上半期経過時点及び令和6年度の当初予算要求時期となる9～10月に中間報告を実施し、事業の進捗状況を確認するとともに、令和6年度に向けた予算、施策に反映させます。
- また、第3次丹波市教育振興基本計画策定に向けた施策の見直し、効果的な企画立案につなげます。

3 関係機関との意見交換と連携強化

- 市長と教育委員会による総合教育会議を開催し、地域の教育課題や子どもたちを取り巻く様々な課題について協議・調整を行い、効率的に教育行政を推進します。
- 教育委員会会議の一層の活性化及び教育委員の活動のさらなる充実を図るために、関係団体や学校管理職などとの意見交換会により連携を強化します。
- 教育委員がそれぞれの識見を発揮しながら地域の教育の実態や課題についての協議を深めるため、教育委員発議による教育委員協議会を開催します。

定例教育委員会



6 魅力向上につながる施策の展開

〔●：重点 ◎：新規 ◆：拡充 □：継続 ※：主な実施事業〕

1 子どもたちのスポーツ、文化活動の振興

◆スポーツ、文化活動の全国大会に出場した場合に、これまでは市内の学校に在籍する小・中学生及び高校生に激励金を支給していましたが、これに、丹波市に住民票のある小・中学生及び高校生並びに丹波市立小学校または中学校を卒業した中学生及び高校生を支給対象に加え、支給対象者を拡充することにより、生徒などのスポーツ、文化活動の振興をより一層図ります。

また、活躍する小・中学生、高校生を応援することで、丹波市のPRや、『「帰ってこいよ」のまちづくり』、「ふるさとを愛しこころ豊かでたくましい人づくり」につなげます。

※丹波市小・中学生、高校生全国大会出場激励金の支給の拡充

2 学校の魅力づくり・ふるさと意識の醸成

●市内の県立高等学校、地域、地元企業などが協働し、特色のある教育や高等学校の魅力化に取り組むなかで、丹波市の将来を担う人材をはぐくむとともに、高等学校の活性化と地域活力の向上を図り、小中学生が市内高等学校の魅力を感じることで、学ぶ意欲を高めます。

また、地域や地元企業などの協働団体との活動を通じて、多様な人々と交流し地域と触れ合うことで、ふるさと意識の醸成につなげます。

※e スポーツ部設立支援（氷上西高等学校）

※事業内容と推進体制を協議（柏原高等学校、氷上高等学校）

施策成果指標一覧

1/3

施策	指標	計画策定時(H30)	実績値(R3)	目標値(R6)	出典
I 生きる力をはぐむ学校教育の推進					
1 次世代を生きぬく学力の育成	授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童生徒の割合	小学校 76.3% 中学校 71.6%	小学校 78.0% 中学校 83.5%	小学校 81.3% 中学校 81.6%	全国学力・学習状況調査 (小6・中3)
	プログラミング教育を指導できる教員の割合	小学校 15.1% 中学校技術教員 -	小学校 66.0% 中学校技術教員 -	小学校 100% 中学校 100%	市独自のICT活用調査におけるプログラミング教育を実践した小学校、中学校技術教員の割合の実績値
	英語検定3級相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合	37.4%	35.9%	50.0%	英語教育実施状況調査
2 豊かなこころの育成	いじめのあったときに「誰にも相談しない」と回答する児童生徒の割合(1年間の平均値)	6.0%	5.7%	3.0%未満	丹波市いじめアンケート
	情報モラルに関する授業を受けた児童生徒の割合	小学校 91.5% 中学校 97.3%	小学校 77.9% 中学校 92.0%	小学校 100% 中学校 100%	児童生徒のスマートフォン等の利用に係るアンケート調査
3 健やかな体の育成	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の基礎的運動要因8項目のうち、課題のある4項目において全国平均を上回る項目数	小学男子 0項目 小学女子 0項目 中学男子 1項目 中学女子 1項目	小学男子 2項目 小学女子 1項目 中学男子 2項目 中学女子 2項目	小学男子 4項目 小学女子 4項目 中学男子 4項目 中学女子 4項目	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	93.4%	95.2%	100%	全国学力・学習状況調査
	地域と連携した防災訓練の実施率	90.0%	93.1%	100%	防災教育に関する実態調査
4 丹波市のフィールドを活かした教育の推進	地域や社会で起こっている出来事に関心がある児童生徒の割合	60.7%	45.9%	70.7%	全国学力・学習状況調査
	キャリアノートを活用するとともに、地域貢献活動を実施した小学校の割合	-	100%	100%	丹波市独自調査
5 幼児教育・保育の推進	研修で学んだことをいかして保育の工夫・改善を行うことができたと答えた保育教諭の割合	-	83.0%	100%	研修アンケート
	認定こども園のアプローチプログラムの作成	1園	6園	13園	丹波市独自調査
6 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進	「学校の教員は、特別支援教育について理解し、授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫をよく行った」と答えた学校の割合(小中の平均)	65.3%	65.3%	80.0%	全国学力・学習状況調査 学校質問紙
	適応指導教室で、ICTを活用して個別学習を実施した学校の割合	-	100%	100%	レインボー教室での実施状況
	「多文化交流Day」に参加した児童生徒の交流に関する満足度	-	-	80.0%	交流Dayアンケート
7 人権教育の推進	いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う児童生徒の割合	97.7%	97.6%	100%	全国学力・学習状況調査
	中学3年間で、デートDVの授業により、学習した生徒の割合(中学3年生)	-	66.3%	100%	丹波市独自調査

施策	指標	計画策定時(H30)	実績値(R3)	目標値(R6)	出典
II 生涯を通じて学び、活躍できる生涯学習の推進					
1 地域の将来を担う人づくり	地域の人々が学校と連携・協働して子どもの成長を支えていると思う市民の割合	-	59.7%	80.0%	丹波市市民意識アンケート
	コミュニティ・スクールを導入している中学校の割合	14.3%	85.7%	100%	学校運営協議会制度導入中学校の数
	1年間に、子どもの教育・育成に関する活動へ参画した割合	12.7%	10.7%	20.0%	丹波市生涯学習活動に関するアンケート調査
	少年少女スポーツの指導者が指導者資質向上を目的とした研修会へ参加した割合	32.6%	-	50.0%	文化・スポーツ課資料
2 学びの成果を活かせる社会教育	1年以内に生涯学習を行った市民の割合	56.0%	63.0%	70.0%	丹波市生涯学習活動に関するアンケート調査
	学びの活動で身についた知識や技能をいかしたいと思う市民の割合	34.2%	34.8%	40.0%	丹波市生涯学習活動に関するアンケート調査
	市民活動を行いやすい環境が整備され、支援体制が整っていると思う市民の割合	34.9%	41.1%	40.0%	丹波市生涯学習活動に関するアンケート調査
3 地域資源を活かした学びの推進	丹波竜化石工場の来館者数	65,407人	57,856人	66,000人	恐竜課資料
	氷上回廊水分れフィールドミュージアムの入館者数(事業参加者数を含む)	2,035人	33,025人	30,000人	社会教育・文化財課資料
4 文化芸術に親しむこころ豊かな市民生活の醸成	美術館への入館者数	18,369人	16,470人	24,000人	植野記念美術館資料
	文化ホール事業の来館者数	21,414人	10,261人	28,000人	文化・スポーツ課資料
	丹波アートコンペティションの作品応募数(市民のみ)	143点	272点中90点	170点	文化・スポーツ課資料
5 暮らしにとけこむ図書館づくり	図書館登録者のうち当該年度に図書館資料を借受けた登録者の数(有効登録者数)	8,205人	6,578人	8,700人	図書館統計資料
	図書館サポーターの活動実績人数	211人	107人	300人	図書館資料
	児童図書の貸出総冊数	177,867冊	183,500冊	180,000冊	図書館統計資料
6 歴史文化遺産の保存・活用と継承	1年以内に地域の伝統芸能や伝統行事へ参加した、または鑑賞したことがある市民の割合	51.9%	31.2%	57.0%	丹波市市民意識アンケート
	指定文化財保存整備等の補助事業数	14事業	2事業	20事業	社会教育・文化財課資料
7 家庭教育の充実	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	93.4%	95.1%	100%	全国学力・学習状況調査
	子育てを地域みんなで協力し、支えていると思う市民の割合	46.7%	38.2%	80.0%	丹波市市民意識アンケート
8 豊かな人権文化を創造する人権教育	住民人権学習の実施率	92.0%	54.8%	100%	人権啓発センター資料
	地域人権教育事業に参加した生徒数	302人	193人	400人	人権啓発センター資料
	企業・事業所の人権学習への講師紹介・派遣件数	0件	3件	5件	人権啓発センター資料

施策	指標	計画策定時(H30)	実績値(R3)	目標値(R6)	出典
Ⅲ 学びを支える環境の整備					
1 教職員の資質・能力及び学校の組織力の向上	授業中にICTを活用して指導できる教員の割合	84.5%	87.0%	100%	文部科学省調査を元に丹波市独自算出
	管理職研修の内容が、組織力向上に活かされると回答した割合	-	94.6%	100%	研修後アンケート
	月に45時間以上超過勤務を行う教職員の割合	34.3%	21.7%	0%	記録簿集計表のとりまとめ
2 学校給食の充実	衛生上の支障を懸念して給食を停止した回数	0回	0回	0回	学校において異常を発見し、喫食を停止させた回数
	学校給食費(現年分)の徴収率	98.4%	99.1%	99.5%	給食費収入額/給食費調定額
	地場野菜(主要15品目)の使用割合	27.3%	23.5%	30.0%	主要15品目野菜の地場使用量/主要15品目野菜の総使用量
3 安全・安心な学習環境の整備・充実	長寿命化計画におけるトータルコストの削減	3校	0校	4校	学校施設長寿命化計画
	通学路における事故件数(小中学校)	17件	9件	0件	事故発生報告書
	常勤教職員1人1台体制の維持	100%	100%	100%	学校ICT支援員業務報告書
	コンピュータウイルス、サイバー攻撃、不正アクセス等による情報セキュリティ事故の発生件数	0件	0件	0件	学校教育課資料
4 学校の適正規模・適正配置	市島地域小学校統合のあり方	提言	統合形態や時期の検討	検討組織による方針確定	市島地域におけるよりよい教育環境の整備等についての提言
	丹波市立学校適正規模・適正配置基本方針の見直し	-	-	見直し後の方針に沿った取組	丹波市立学校適正規模・適正配置方針
5 教育委員会活動の活性化	教育委員会からの情報発信(市のホームページや広報等)は内容が充実していると思う市民の割合	33.7%	39.5%	50.0%	丹波市市民意識アンケート
	自己点検・評価による改善施策数	-	4施策	10施策	教育委員会自己点検・評価
	教育委員の活動件数	289件	186件	300件	教育委員活動報告

丹波市の教育の現状



市立学校一覧	P1
市立学校学級数及び児童生徒数の推移	P2
市内未就学児童数一覧（小学校区別）	P3
文化財一覧（指定等文化財件数）	P4
不登校出現率、 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う割合	P5
丹波竜化石工房入館者数、植野記念美術館入館者数	P6
図書館蔵書冊数・貸出冊数、 市民一人あたりの図書館蔵書冊数・貸出冊数	P7
学校給食地場野菜（主要 15 品目）使用数量・割合、 学校給食費徴収率（現年分）、 丹波市奨学金給付条例による高等学校等奨学金受給者数	P8
教育委員会事務局組織構成図	P9
教育支援センター、学校給食センター、 教育委員会所管社会教育施設一覧	P10

市立学校一覧

○小学校

令和4年5月1日現在

	小学校名	所在地	電話	児童数			学級数	教職員数
				男	女	合計		
柏原	崇広小学校	柏原町柏原683	72-0533	217	197	414	17	25
	新井小学校	柏原町大新屋698-2	72-0346	47	47	94	8	12
山南	上久下小学校	山南町青田156	78-0504	23	22	45	6	11
	久下小学校	山南町谷川2276	77-0607	63	42	105	8	14
	小川小学校	山南町井原427-1	77-0048	50	51	101	7	13
	和田小学校	山南町和田1	76-0002	88	104	192	10	17
氷上	南小学校	氷上町佐野530	82-0011	67	41	108	8	16
	中央小学校	氷上町成松186-1	82-1033	139	123	262	15	18
	西小学校	氷上町上新庄524	82-0204	67	61	128	8	13
	北小学校	氷上町絹山608	82-7030	73	80	153	8	15
	東小学校	氷上町石生585	82-0334	149	138	287	15	23
青垣	青垣小学校	青垣町佐治282-3	87-0043	126	140	266	15	23
市島	竹田小学校	市島町中竹田1703-1	86-0465	35	47	82	8	13
	前山小学校	市島町上竹田12-1	85-0427	34	40	74	8	12
	吉見小学校	市島町上田222-1	85-0017	56	45	101	8	12
	鴨庄小学校	市島町上牧6	85-0490	24	15	39	6	11
	三輪小学校	市島町酒梨205	85-0671	46	40	86	7	12
春日	春日部小学校	春日町多利1774	74-0112	36	70	106	8	13
	大路小学校	春日町下三井庄1080	75-0458	44	42	86	6	13
	進修小学校	春日町国領1011-1	75-0037	50	51	101	8	12
	黒井小学校	春日町黒井2205	74-0035	100	87	187	9	13
	船城小学校	春日町朝日90	74-0142	34	30	64	6	14
合 計				1,568	1,513	3,081	199	325

※教職員数は、県費負担教職員定数(目的加配教職員含む。臨時講師等、市費職員を除く)による。

※吉見小学校と鴨庄小学校は、令和5年度に吉見小学校に統合

○中学校

令和4年5月1日現在

	中学校名	所在地	電話	生徒数			学級数	教職員数
				男	女	合計		
柏原	柏原中学校	柏原町南多田1226	72-0077	136	120	256	11	24
山南	山南中学校	山南町谷川4065	77-0077	82	64	146	8	17
	和田中学校	山南町和田368-1	76-0040	47	56	103	5	13
氷上	氷上中学校	氷上町成松103	82-1148	252	221	473	18	33
青垣	青垣中学校	青垣町小倉365-1	87-0212	70	64	134	7	17
市島	市島中学校	市島町上垣2002	85-0046	99	91	190	8	21
春日	春日中学校	春日町野村2476	74-2075	120	134	254	11	23
合 計				806	750	1,556	68	148

※教職員数は、県費負担教職員定数(目的加配教職員含む。臨時講師等、市費職員を除く)による。

※山南中学校と和田中学校は、令和5年度に山南中学校に統合

市立学校学級数及び児童生徒数の推移

毎年度 5 月 1 日現在

			学級数、児童生徒数					R 3 年度に 対する増減
			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	
柏原	小学校	学級	25	24	24	25	25	0
		人数	549	506	502	504	508	4
	中学校	学級	11	12	11	12	11	△ 1
		人数	308	308	285	288	256	△ 32
	計	学級	36	36	35	37	36	△ 1
		人数	857	814	787	792	764	△ 28
山南	小学校	学級	32	32	34	33	31	△ 2
		人数	485	471	482	464	443	△ 21
	中学校	学級	14	14	13	13	13	0
		人数	254	236	225	233	249	16
	計	学級	46	46	47	46	44	△ 2
		人数	739	707	707	697	692	△ 5
氷上	小学校	学級	54	52	53	53	54	1
		人数	960	961	932	927	938	11
	中学校	学級	20	18	18	17	18	1
		人数	506	471	465	467	473	6
	計	学級	74	70	71	70	72	2
		人数	1,466	1,432	1,397	1,394	1,411	17
青垣	小学校	学級	16	15	14	16	15	△ 1
		人数	291	290	279	279	266	△ 13
	中学校	学級	6	6	6	7	7	0
		人数	125	123	131	134	134	0
	計	学級	22	21	20	23	22	△ 1
		人数	416	413	410	413	400	△ 13
市島	小学校	学級	38	37	37	37	37	0
		人数	407	383	394	383	382	△ 1
	中学校	学級	9	9	8	8	8	0
		人数	238	234	211	217	190	△ 27
	計	学級	47	46	45	45	45	0
		人数	645	617	605	600	572	△ 28
春日	小学校	学級	39	41	42	41	37	△ 4
		人数	554	545	563	557	544	△ 13
	中学校	学級	11	12	11	11	11	0
		人数	289	294	279	265	254	△ 11
	計	学級	50	53	53	52	48	△ 4
		人数	843	839	842	822	798	△ 24
合 計	小学校	学級	204	201	204	205	199	△ 6
		人数	3,246	3,156	3,152	3,114	3,081	△ 33
	中学校	学級	71	71	67	68	68	0
		人数	1,720	1,666	1,596	1,604	1,556	△ 48
	計	学級	275	272	271	273	267	△ 6
		人数	4,966	4,822	4,748	4,718	4,637	△ 81

市内未就学児童数一覧(小学校区別)

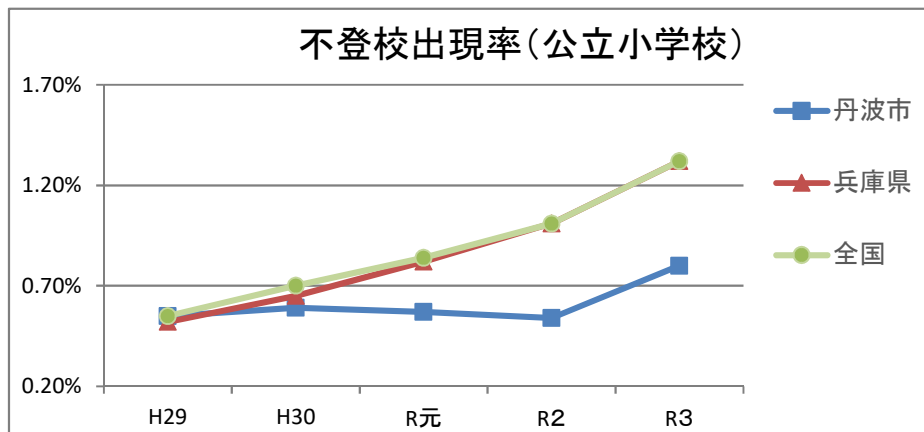
令和4年4月2日現在

地域名	年 齢	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	生年月日 校 区 名	R3.4.2～ R4.4.1	R2.4.2～ R3.4.1	H31.4.2～ R2.4.1	H30.4.2～ H31.4.1	H29.4.2～ H30.4.1
柏 原	崇 広	63	50	76	64	70
	新 井	25	22	17	19	20
	計	88	72	93	83	90
山 南	上 久 下	4	6	5	6	11
	久 下	22	21	21	22	18
	小 川	10	10	10	16	16
	和 田	17	25	23	34	32
	計	53	62	59	78	77
氷 上	南	14	15	24	21	23
	中 央	35	37	30	29	33
	西	14	11	11	8	17
	北	20	18	16	20	13
	東	28	40	50	48	46
	計	111	121	131	126	132
青 垣	青 垣	22	26	25	30	48
	計	22	26	25	30	48
市 島	竹 田	9	11	10	15	11
	前 山	7	8	8	8	4
	吉 見	18	17	13	17	16
	鴨 庄	7	4	9	11	11
	三 輪	12	8	12	9	20
	計	53	48	52	60	62
春 日	春 日 部	10	16	20	16	16
	大 路	8	14	9	12	20
	進 修	15	16	11	19	13
	黒 井	27	21	33	26	23
	船 城	13	4	5	5	9
	計	73	71	78	78	81
合 計		400	400	438	455	490

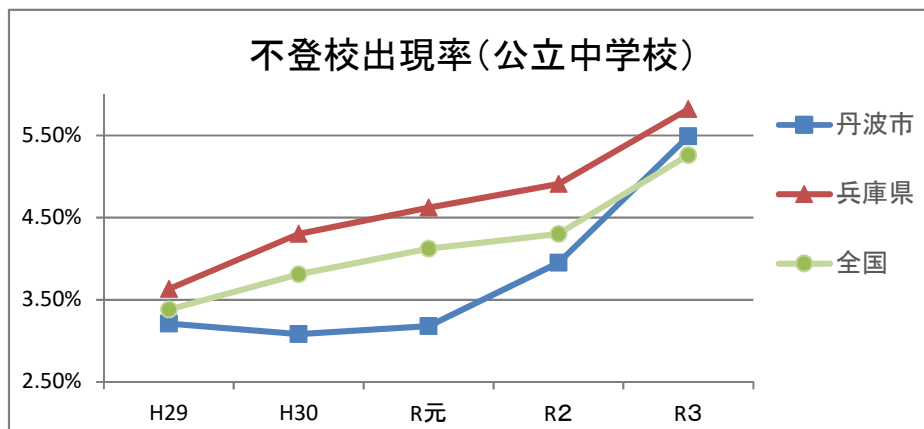
文化財一覧(指定等文化財件数)

令和4年12月現在

指 定 種 別	有 形 文 化 財									無 形 文 化 財	民 俗 文化財		記 念 物			文 化 財 保 存 技 術	合 計
	建 造 物	絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 跡	典 籍	古 文 書	歴 史 資 料	考 古 資 料		有 形	無 形	史 跡	名 勝	天 然 記 念 物		
国指定	3	1	8		2						1		3				18
国選定																2	2
国選択										1		1					2
国登録	18																18
県指定	18	4	4	7			1		2			1	4		3		44
県登録	1																1
市指定	29	20	34	28	12	1	13	3	8	1	6	15	16	4	26		216
合 計	69	25	46	35	14	1	14	3	10	2	7	17	23	4	29	2	301

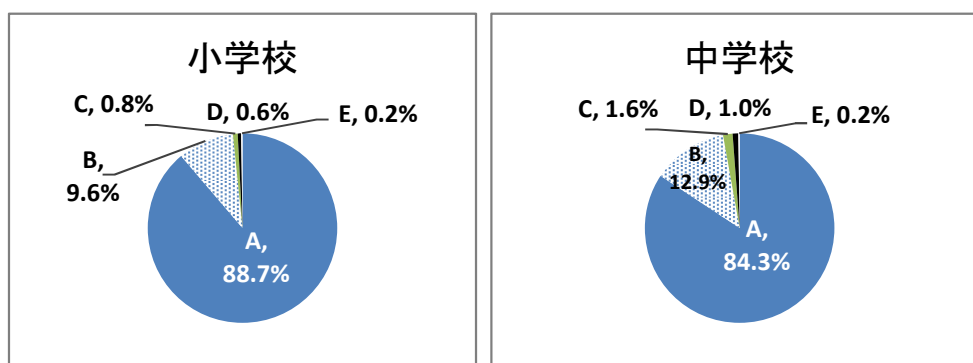


年 度	H29	H30	R元	R2	R3
丹波市	0.55%	0.59%	0.57%	0.54%	0.80%
兵庫県	0.52%	0.65%	0.82%	1.01%	1.32%
全国	0.55%	0.70%	0.84%	1.01%	1.32%

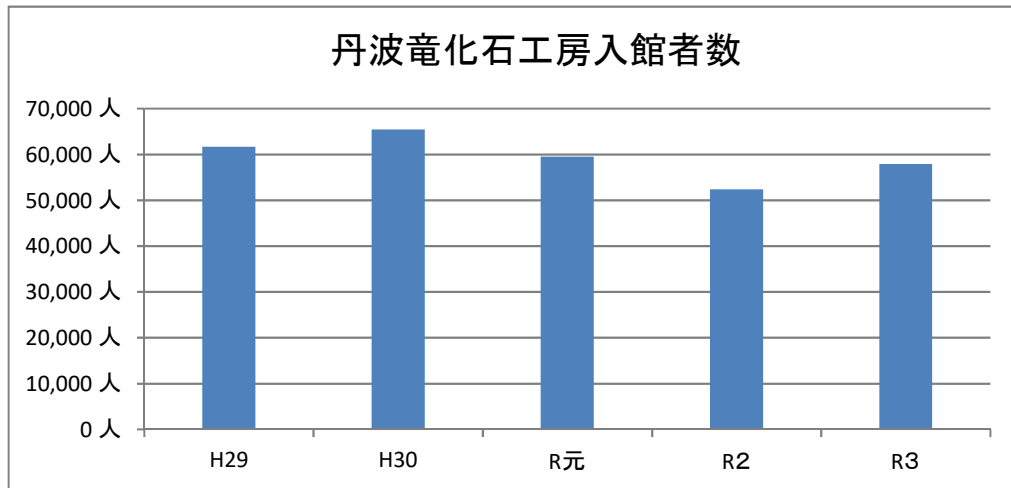


年 度	H29	H30	R元	R2	R3
丹波市	3.21%	3.08%	3.18%	3.95%	5.49%
兵庫県	3.63%	4.30%	4.62%	4.91%	5.82%
全国	3.38%	3.81%	4.12%	4.30%	5.26%

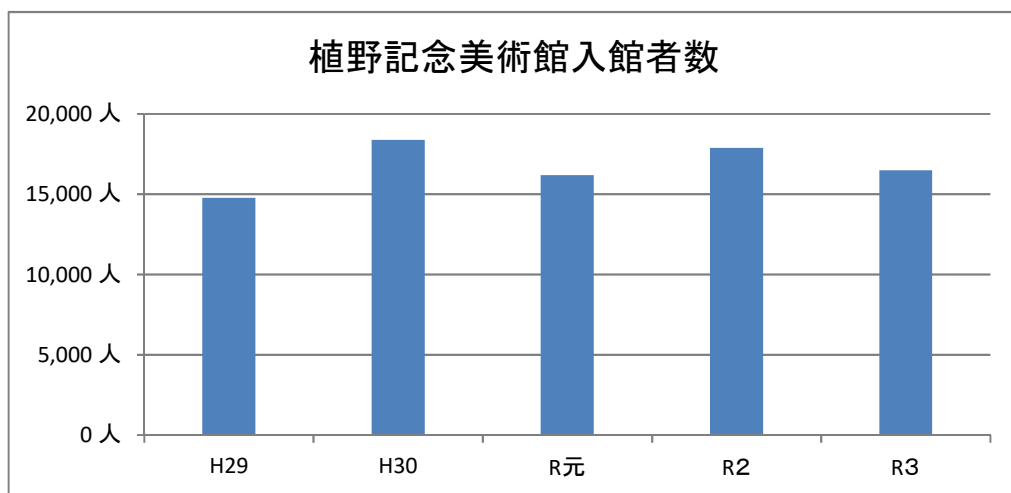
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う割合



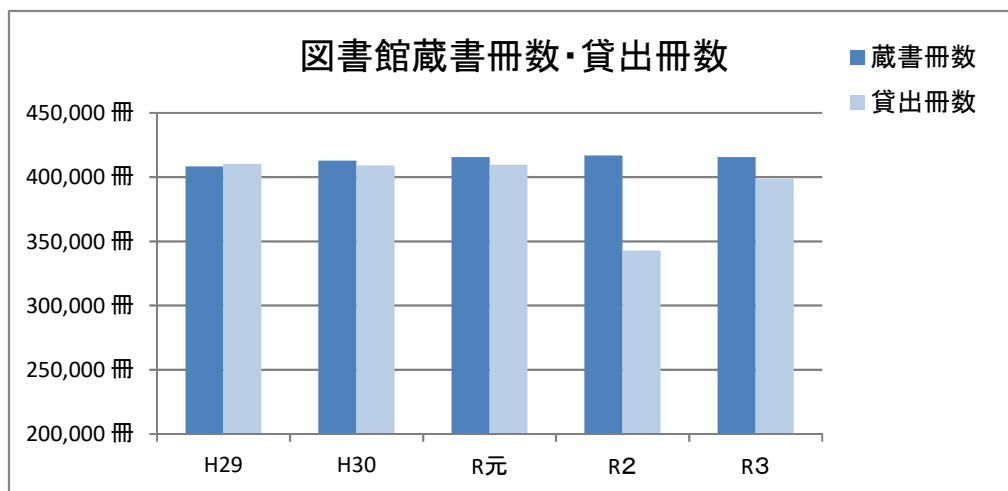
R3	思う A	どちらかといえば 思う B	どちらかといえば 思わない C	思わない D	無回答 E
小学校	88.7%	9.6%	0.8%	0.6%	0.2%
中学校	84.3%	12.9%	1.6%	1.0%	0.2%



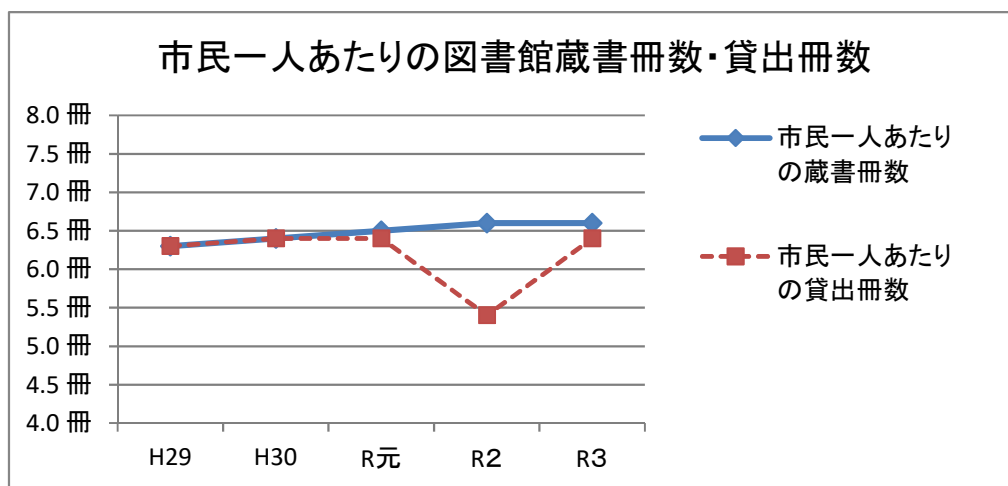
年 度	H29	H30	R元	R2	R3
入館者数	61,617 人	65,407 人	59,472 人	52,326 人	57,856 人



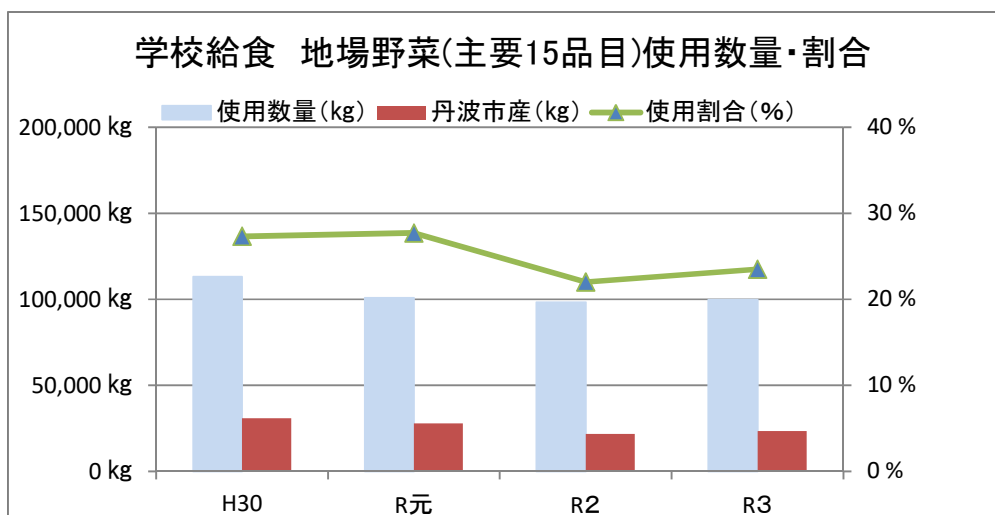
年 度	H29	H30	R元	R2	R3
入館者数	14,769 人	18,369 人	16,185 人	17,874 人	16,470 人



年 度	H29	H30	R元	R2	R3
蔵書冊数	408,253 冊	412,708 冊	415,359 冊	416,753 冊	415,518 冊
貸出冊数	410,334 冊	409,041 冊	409,486 冊	342,637 冊	398,606 冊

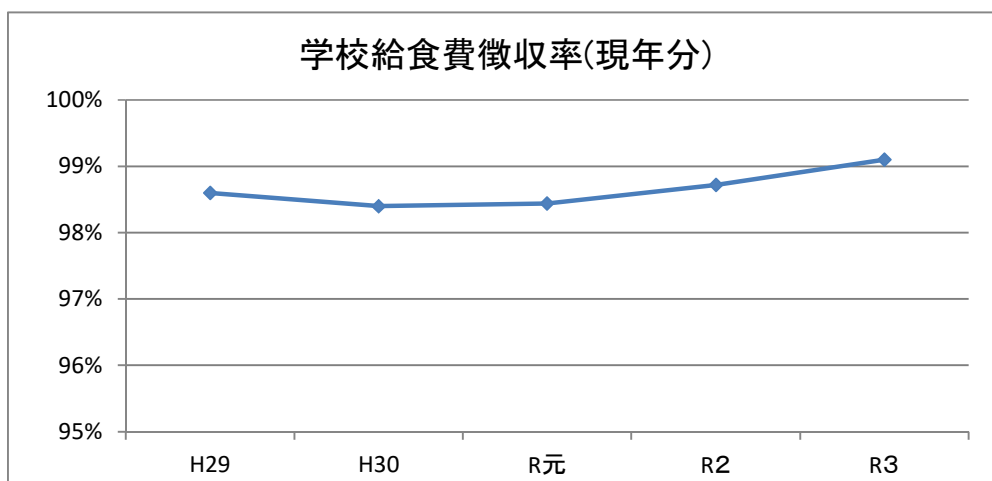


年 度	H29	H30	R元	R2	R3
市民一人あたりの蔵書冊数	6.3 冊	6.4 冊	6.5 冊	6.6 冊	6.6 冊
市民一人あたりの貸出冊数	6.3 冊	6.4 冊	6.4 冊	5.4 冊	6.4 冊

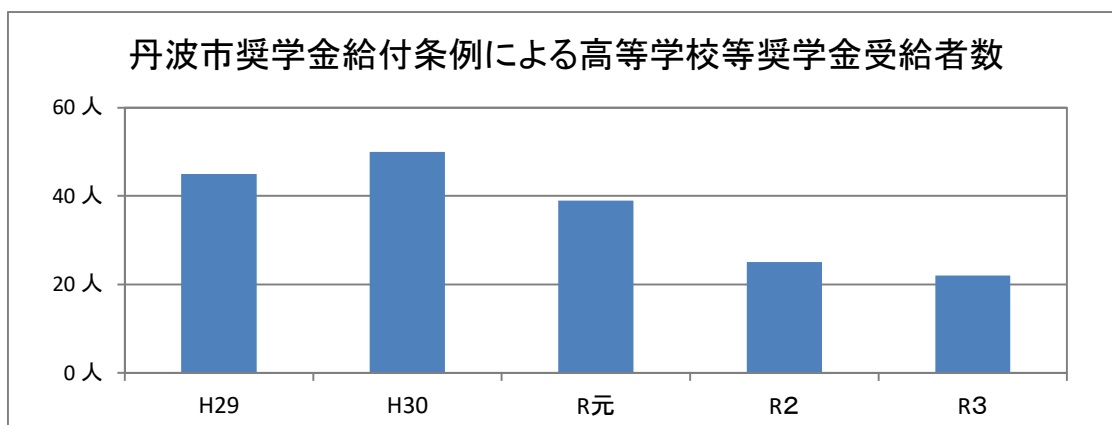


年 度	H30	R元	R2	R3
使用数量(kg)	113,021 kg	100,792 kg	98,238 kg	99,593 kg
丹波市産(kg)	30,855 kg	27,903 kg	21,615 kg	23,384 kg
使用割合(%)	27.3 %	27.7 %	22 %	23.5 %

※米、果物等を除く

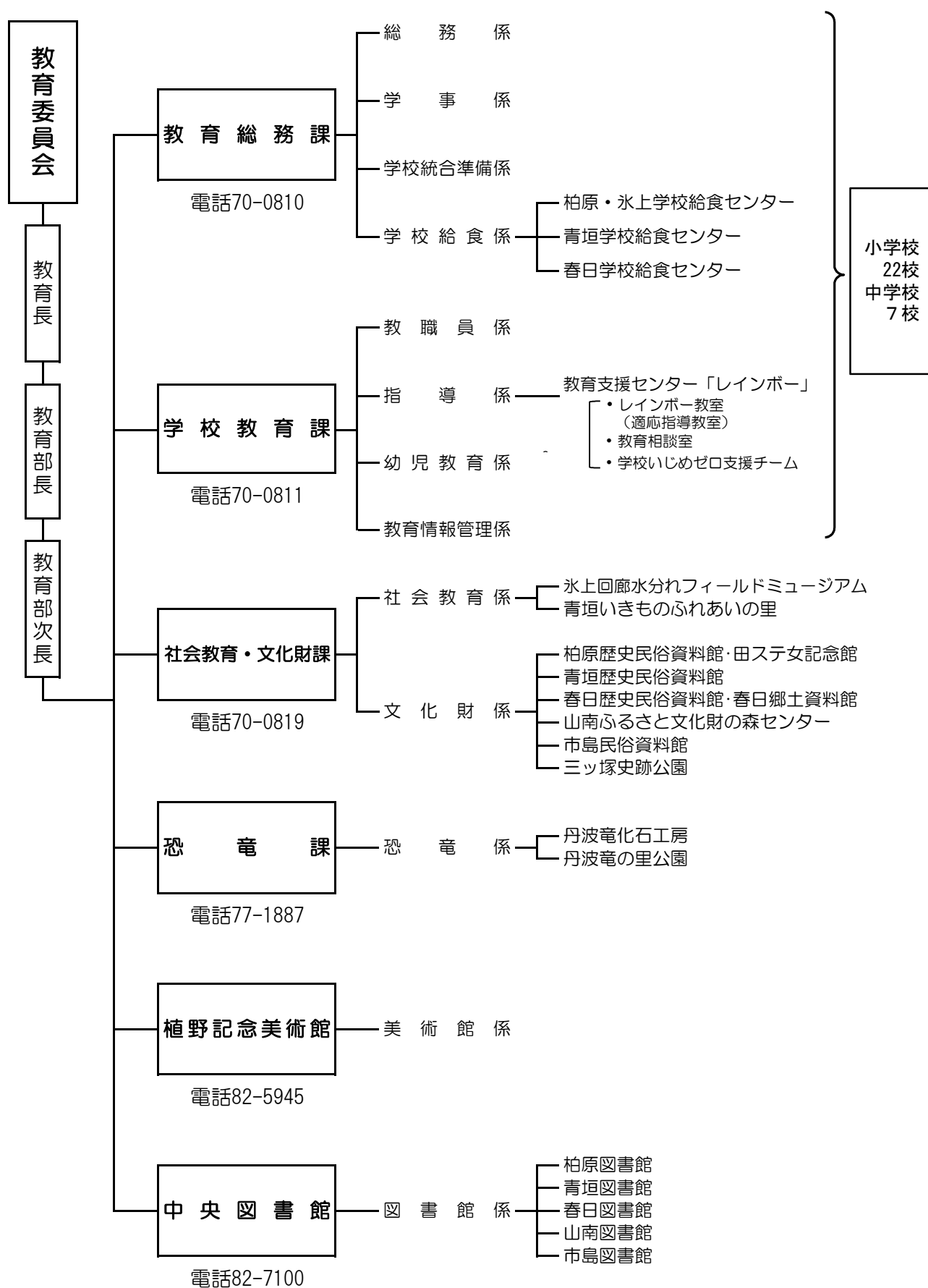


年 度	H29	H30	R元	R2	R3
徴 収 率	98.60%	98.40%	98.44%	98.72%	99.10%



年 度	H29	H30	R元	R2	R3
受給者数	45 人	50 人	39 人	25 人	22 人

教育委員会事務局組織構成図（令和5年3月末現在）



教育支援センター、学校給食センター、教育委員会所管社会教育施設一覧

(令和5年3月末現在)

○教育支援センター「レインボー」

名 称	所 在 地	電話番号
レインボー教室(適応指導教室)	〒669-4141 春日町黒井1519-1	74-0710
教育相談室	〒669-4141 春日町黒井1519-1	74-3220
学校いじめゼロ支援チーム	〒669-4141 春日町黒井1519-1	74-0711

○学校給食センター

施 設 名	所 在 地	電話番号
柏原・氷上学校給食センター	〒669-3464 氷上町石生77-3	80-4050
青垣学校給食センター	〒669-3841 青垣町口塩久648-18	87-4430
春日学校給食センター	〒669-4132 春日町野村2476	70-3370

○教育委員会所管社会教育施設

	施 設 名	所 在 地	電話番号
柏原	柏原図書館	〒669-3309 柏原町柏原5528	72-0313
	柏原歴史民俗資料館・田ステ女記念館	〒669-3309 柏原町柏原672	73-0177
氷上	中央図書館	〒669-3602 氷上町常楽233	82-7100
	植野記念美術館	〒669-3603 氷上町西中615-4	82-5945
	氷上回廊水分れフィールドミュージアム	〒669-3464 氷上町石生1155	82-5912
青垣	青垣図書館	〒669-3892 青垣町佐治114	87-1111
	青垣歴史民俗資料館	〒669-3811 青垣町佐治114	70-0819(社会教育・文化財課)
	青垣いきものふれあいの里	〒669-3833 青垣町山垣2115-6	88-0888
春日	春日図書館	〒669-4192 春日町黒井496-2	74-1611
	春日歴史民俗資料館・春日郷土資料館	〒669-4141 春日町黒井496-2	70-0819(社会教育・文化財課)
山南	山南図書館	〒669-3198 山南町谷川1110	77-0336
	旧友井家住宅	〒669-3145 山南町野坂字西山田203	70-0819(社会教育・文化財課)
	山南ふるさと文化財の森センター	〒669-3103 山南町篠場447	70-0819(社会教育・文化財課)
	丹波竜化石工房	〒669-3198 山南町谷川1110	77-1887(恐竜課)
	丹波竜の里公園	〒669-3101 山南町上滝1916	77-1887(恐竜課)
市島	市島図書館	〒669-4322 市島町上田814	85-2733
	市島民俗資料館	〒669-4322 市島町上田1134	70-0819(社会教育・文化財課)
	三ッ塚史跡公園	〒669-4322 市島町上田800	70-0819(社会教育・文化財課)

用語解説

用語解説

【アルファベット】

用 語	説 明	掲載ページ
ALT	Assistant Language Teacher の略。日本人外国語担当教員の助手として従事し、学校や地域の外国語教育及び国際化向上のために活動する外国語指導助手。	p. 3
E-letter	中学生がオーストラリアの生徒へ英語で手紙を書き交流を図る取組。外国語を読んだり書いたりする機会を充実させ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	p. 3
GIGA スクール構 想	Global and Innovation Gateway for All の略。全国の学校で義務教育を受ける児童生徒に、1人1台の学習者用 PC やクラウド活用を前提とした高速ネットワーク環境などを整備する計画をまとめたもの。	p. 3 p. 20
ICT	Information and Communication Technology の略。情報や通信に関する技術の総称。	p. 3 p. 4 p. 5 p. 6 p. 12 p. 13 p. 22
SNS	Social Networking Service の略。インターネット上の交流をととして社会的ネットワークを構築するサービス。	p. 4 p. 13

【あ行】

用 語	説 明	掲載ページ
アプローチプログ ラム	幼児期の発達や学びを小学校教育に円滑に接続するための5歳児後半（アプローチ期）における教育課程。	p. 7
アントレプレナー シップ教育	精神的、経済的に自立した個人として問題意識を持ち、新しいことに挑戦することで社会をよりよくしていける人材の育成をめざす教育。起業家教育ともいう。	p. 6 p. 10
いじめ報告・相談 アプリ STANDBY	生徒がいじめなどの問題行動を匿名で相談・報告できるいじめ報告・相談アプリ。	p. 4
インクルーシブ教 育	障がい者などが積極的に参加・貢献していくことができる共生社会の形成に向けて、障がいのある者となない者が共に学ぶ仕組み。	p. 7
家読（うちどく）	「家読（うちどく）」は、「家庭読書」の略語。家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的にした読書運動。	p. 16

【か行】

用 語	説 明	掲載ページ
外国人児童生徒語学指導者	日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対し、コミュニケーションの円滑化を促すとともに、学校生活への早期適応を促進するために支援する指導者。	p. 8
学校運営協議会	教育委員会が個別に指定する学校ごとに、当該学校の運営に関して協議するためにおく機関。	p. 6 p. 10 p. 18
カリキュラム・マネジメント	学校（園）の教育（保育）目標の実現に向けて、各学校（園）が子どもや地域の実態を踏まえ、教育課程（カリキュラム）の編成、実施、評価、改善を計画的・組織的にすすめる、教育（保育）の向上を図ること。	p. 6 p. 7
キャリア教育	一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育て、キャリア発達を促す教育。	p. 6
キャリアノート	キャリア発達を促す様々な学習経験や活動の記録などを児童生徒が書き込むノート。各学年で書き込んだものを1冊のファイルにして、小学1年生から中学3年生までつないでいく。	p. 6
キャリア・パスポート	キャリア発達を促す様々な学習経験や活動の記録などを児童生徒自身が書き込んだキャリアノートの内容をもとに毎学期末の振り返りを行う際に書き込んだものを1冊のファイルにして、小学校から高等学校までの12年間をつなぐ。	p. 6
元気アップチャレンジシート	体づくり運動の継続した取組を促すために、児童のモチベーション向上を図りながら自己評価できるシート。	p. 5
広域貸出サービス	丹波市民が丹波篠山市・西脇市・多可町・朝来市・福知山市の図書館で貸出等のサービスが利用できる。	p. 16
コミュニティ・スクール	学校が保護者や地域住民と一体となって学校運営の改善を図ることを目的として学校運営協議会を設置する制度。	p. 10 p. 18 p. 20

【さ行】

用 語	説 明	掲載ページ
情報モラル	情報社会を生き抜き、健全に発展させていく上で、すべての国民が身に付けておくべき考え方や態度。	p. 3 p. 4 p. 9
スクールカウンセラー	児童生徒や保護者の抱える悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能の充実を図るため、臨床心理に専門的な知識・経験を有する学校外の専門家。	p. 1 p. 4

スクールソーシャルワーカー	問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境への働きかけや関係機関等とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて課題解決の対応を図っていく福祉の専門家。	p. 1 p. 4
スタートカリキュラム	幼児期の発達や学びを小学校教育に円滑に接続するため小学校入学当初に行われる教育課程。	p. 7
性的マイノリティー	同性や両性に恋愛感情を持つ人や、身体の性とところの性が一致していないため性の在り方に違和感がある人などのこと。	p. 4 p. 9

【た行】

用 語	説 明	掲載ページ
体力アップサポーター	児童生徒が運動する喜びや楽しさを実感する機会の充実や体育・運動能力の向上を図るために、学校に派遣する地域のスポーツ指導者や専門家。	p. 5
タブレットドリル	タブレットパソコン上で利用できるドリル型教材。自動採点、学習履歴の把握などができ、個々に合ったレベルやペースで、知識の確かな定着や、主体的に個人で学ぶ姿勢を支援する。	p. 3 p. 8
多文化交流 Day	自国と異国の文化を尊重し、児童生徒が ALT 及び様々な国籍の人々と遊びなどの活動を通し交流する事業。	p. 8
丹波市サポートファイル	乳幼児期から就労期に至るまでの連続した支援を行うため、関係機関との連携を図りつつ、子どもの実態や目標、支援方法など子どもに関する情報を共有するためのファイル。個別的教育支援計画。	p. 8
丹波市のフィールドを活かした教育ガイド	市内の各小学校区における地域の教育実践（自然・文化・産業など）をまとめ、ふるさとをより知ったり、調べ学習などに活用したりする資料。	p. 6
丹波市防災教育モデルプラン	平成 28 年度「地域と連携した防災教育推進事業」の研究実践から、小・中学校が豪雨災害の教訓を踏まえ、地域と連携した防災教育を実施することをめざし、学校での防災教育の年間指導計画モデルとして示したもの。	p. 5
丹波市防災教育教材「心つながり」	平成 26 年 8 月の豪雨災害を踏まえ、自然災害から自らの生命を守るため、主体的に行動する態度や共生のころをはぐくむ防災教育を行うことを目的に作成した教材。	p. 5
たんばふるさと学	丹波市の魅力ある教育資源（自然・文化・産業など）を活用し、学校・地域が連携しながら授業を行い、ふるさとへの愛着や誇りを持った子どもたちをはぐくむ教育。	p. 6 p. 10

地域学校協働活動 推進員	地域住民と学校との情報共有や地域住民への助言など、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割を担う地域人材。	p. 2 p. 10 p. 18
中学校高等学校連携シート	特別な支援を必要とする生徒が高等学校へ進学するにあたり、支援を円滑に引き継ぐことを目的として、中学校での生活の様子や学習状況をまとめたシート。	p. 8
通級	通常の学級に在籍していながら、障がいに応じた自立活動の指導を受けることのできる制度。	p. 8

【な行】

用 語	説 明	掲載ページ
にっぽん恐竜協議 会構成市町	北海道むかわ町、熊本県御船町、群馬県神流町、兵庫県丹波篠山市、岩手県久慈市、福井県勝山市、徳島県勝浦町、石川県白山市および丹波市の5市4町で構成。（令和5年3月末現在）	p. 6
ネットdeイングリ ッシュ	SkypeなどのICT機器を活用し、オーストラリアの児童とのライブ交流を行う学習。	p. 3

【は行】

用 語	説 明	掲載ページ
博学連携	博物館と学校がそれぞれの教育機能をいかして連携・協力し、よりよい形で子どもたちを教育していこうとする活動。	p. 14
兵庫版道徳教育副 読本	兵庫ゆかりの人物を取り上げるなど地域の特性をいかし、子どもたちの興味や関心を高めながら道徳教育のさらなる充実を図る教材。	p. 4
副籍	特別支援学校に在籍する児童生徒が、居住地の小中学校等の学級に置く副次的な学籍。	p. 8
ブックトーク	特定のテーマに関する一連の本を内容や解説を加えながら関連づけて順番に紹介すること。	p. 16
プログラミング教 育 プログラミング的 思考	子どもたちがコンピュータに意図した処理を行うように指示することを体験しながら、将来どのような職業に就いても普遍的に求められる「プログラミング的思考」（論理的に考える力）を育成する教育。	p. 3

【ら行】

用 語	説 明	掲載ページ
竜学	小学6年生の希望者が、にっぽん恐竜協議会を構成する自治体を訪問し、恐竜を題材とした交流・学習を行う事業。	p. 6
レインボー教室	何らかの原因により学校に行けない子どもたちや休みがちな子どもたちを対象にした通級施設（適応指導教室）。教育相談員や指導員がいて、それぞれの相談や支援活動を行う。活動内容は、悩み相談、学習活動、読書活動、創作活動、絵画、スポーツ、パソコンなど個々の実態に応じて行う。児童生徒だけでなく、保護者・教職員への相談業務、指導助言も行っている。これらの活動を通して学校生活に適應できる力を養い、学校復帰をめざす。場所は、丹波市春日町黒井、丹波市教育支援センター「レインボー」内。	p. 4

丹(まごころ)の里



丹波市

令和5年度 丹波市の教育

発行：丹波市教育委員会

住所：丹波市山南町谷川 1110 番地